

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年12月21日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリ

都市型コンパクトタウン

都市再生・地方創生

グローバルへの取組み

不動産テック

働き方改革

健康・介護ニーズ

社会課題

定期報告・レポート

～高機能型物流施設『Landport』シリーズ～

2018年4月より始まる3カ年において、新たに9棟・投資総額約1,100億円の事業化を決定
交通利便性の高いエリアを厳選し、テナント企業の雇用の確保にも貢献

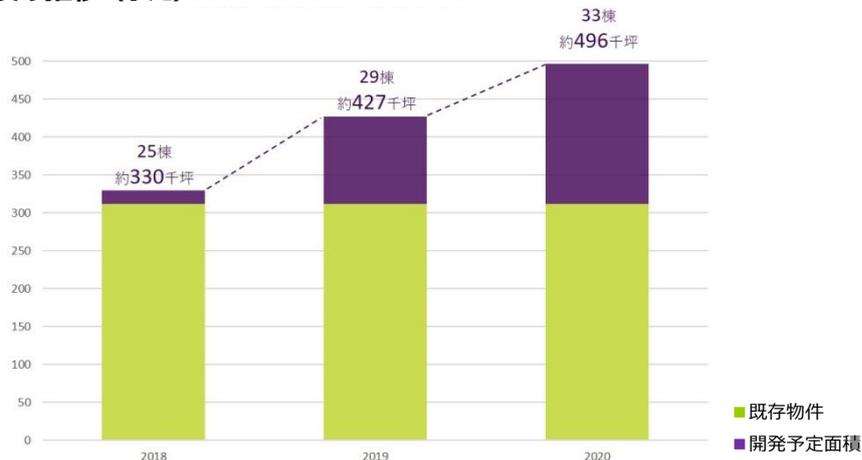
野村不動産株式会社（本社：東京都新宿区／代表取締役社長：宮嶋 誠一）は今般、大規模高機能型物流施設「Landport 厚木愛川町（仮称）」の開発計画が決定したことにより、2018年4月より始まる3カ年における「Landport」シリーズへの総投資額が約1,100億となりますことをご知らせいたします。なお、同期間における開発棟数は全9棟（延床面積：約185,000坪）となり、物流施設の開発・運用棟数の累計は33棟、総延床面積は約496,000坪となる見込みです。（「Landport」シリーズ以外の物流施設も含む）

■「Landport」投資計画（2018～2020年度）

名称（仮称）	所在地	延床面積	竣工（予定）
Landport 青梅Ⅰ	東京都青梅市	約18,500坪	2018年11月
Landport 東習志野	千葉県習志野市	約23,000坪	2019年8月
Landport 川口	埼玉県川口市	約6,000坪	2019年9月
Landport 青梅Ⅱ	東京都青梅市	約24,000坪	2019年12月
Landport 習志野	千葉県習志野市	約44,000坪	2019年12月
Landport 東雲	東京都江東区	約7,000坪	2020年2月
Landport 厚木愛川町	神奈川県愛甲郡	約29,000坪	2020年3月
Landport 越谷	埼玉県越谷市	約9,700坪	2020年6月
Landport 青梅Ⅲ	東京都青梅市	約24,000坪	2020年9月

※計画は現段階の予定であり、今後変更となる可能性があります

■棟数・延床面積の推移（予定）



あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

当社グループでは 2005 年より物流施設の開発に着手致しました。現在、Landport シリーズ 13 棟を含む、運用中物件全 24 棟は旺盛な需要を背景に、ほぼ満床で稼働しております。今後も首都圏・関西圏・中京圏においてエリアを厳選し開発を継続していくと共に、物流業界において喫緊の課題となっている雇用の確保にも貢献してまいります。

■「Landport」の商品戦略について

「Landport」は社会環境の変化やテナント企業の要望を分析の上、立地や施設希望に応じた幅広い商品戦略を立てており、昨今、テナント企業から要望の多い「BTS」型施設にも対応しています。また、テナント企業の従業員が快適な環境で働けるよう、共用施設の充実化を図っています。

※BTS…Build To Suit の略。テナントの要望に応じて建築された「オーダーメイド型」の物流施設のこと

・コールドチェーン対応

少子高齢化や共働き世帯の増加など社会環境の変化により、生鮮食品や冷凍食品などを、産地から消費地まで一貫して、低温・冷蔵・冷凍の状態を保ったまま流通させる「コールドチェーン」に対応した施設の必要性が高まっています。「Landport」においても、消費集積地で多頻度配送に適したエリアに「コールドチェーン」に対応した施設を開発してまいります。

・省人化対応

物流業界においては昨今、働き手の不足に伴う機械化・省人化が進みつつあります。「Landport」においても、「移动式自動ラック」や「自動倉庫」(*)への対応など、フレキシブルな施設設計を具現化してまいります。

※自動倉庫…荷棚での荷物の保管・管理や出し入れをコンピュータ制御により自動的に行う仕組みをもつ倉庫

・庫内空間の有効活用対応

物流業界では季節によって商品在庫の量が大きく変動する業種もあるため、梁下有効高のアップ、余剰容積を活用したメザニン（倉庫内部を効率的に活用することのできる中 2 階式の棚）の設置等の施設設計を物件毎に判断して取り入れております。

・快適な労働環境の提供

テナント企業の従業員がランチタイムや休憩時に利用できる商業店舗やカフェテリア、シャワーブース（一部物件）などを設置し、快適な労働環境を提供します。



メザニン／「Landport 柏沼南 II」（竣工済）



カフェテリア／「Landport 高槻」（竣工済）

あしたを、つなぐ

PRESS RELEASE

■「Landport」開発予定物件一覧（～2020年度）

2018年	Landport青梅Ⅰ ★1			
				
2019年	Landport東習志野 ★3	Landport川口 ★2	Landport青梅Ⅱ ★1	Landport習志野 ★4
				
2020年	Landport東雲 ★6	Landport厚木愛川町 ★5	Landport越谷 ★7	Landport青梅Ⅲ ★1
				

※上記物件名横の数字は地図中の★内の数字を表します

※図中の●は「Landport」シリーズ、●は「Landport」シリーズ以外の物流施設を表します

■地図



あしたを、つなぐ